

税理士業界増刊  
ニュース

# THE 会計事務所経営

## 新時代到来! 天動説から 地動説へ!!

これからの会計事務所のあり方について  
若手税理士7人衆が語る



(左から)伊東大介氏(税理士法人アイデアコンサルティング・東京都渋谷区)、及川健太氏(及川総合会計事務所・奈良県生駒市)、  
入江順也氏(入江会計事務所・兵庫県神戸市)、大倉拓行氏(税理士法人T-FRONT・愛知県名古屋市)、柳田幸紀氏(税理士法人YFPクリア・東京都豊島区)、  
黒川明氏(黒川税理士事務所・東京都多摩市)、椎木秀行氏(椎木会計事務所・宮城県仙台市)

(左から)伊東大介氏(税理士法人アイデアコンサルティング・東京都渋谷区)、及川健太氏(及川総合会計事務所・奈良県生駒市)、  
入江順也氏(入江会計事務所・兵庫県神戸市)、大倉拓行氏(税理士法人T-FRONT・愛知県名古屋市)、柳田幸紀氏(税理士法人YFPクリア・東京都豊島区)、  
黒川明氏(黒川税理士事務所・東京都多摩市)、椎木秀行氏(椎木会計事務所・宮城県仙台市)

ショートインタビュー

「若手税理士7人衆」の中で、スケジュールの都合で座談会に出席できなかった2名の若手税理士を紹介します。

大学入学直後の18歳から勤労学生として働いていました。勤めていた事務所に10年はいようと思っていたのですが、一度独立を考えたらワクワクしてきて「独立しかない」と思い込んでしまいました。そこで29歳で独立。2008年1月、顧問先ゼロでスタートしました。その年の3月には子供が誕生。食べていくために当初は一般企業で経理の派遣社員をやっていました。開業1年目は交流会等に出て、とにかく人に会って、名刺を配りまくりました。初年は紹介で25件の

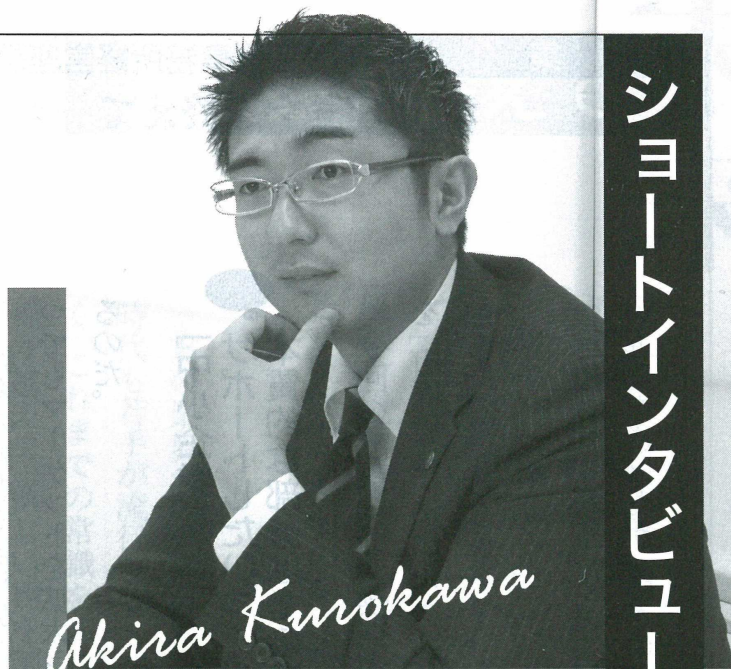
「社長にとって最も身近な相談相手」ですね。社長にとって一番相談しやすい存在でありたいです。中小企業の大部分は顧問税理士がいますので、土業の中でも税理士は社長に最も近い場所にいるのでは。それこそ、奥さんにも相談できないような、隠しておきたいことも気軽に相談できる間柄でいたいのです。また、社長さんにとってお手本になるような事務所にしたいです。そうでなければ実りのある相談にはならないと思うのです。経営状態、スタッフの質など、すべてにおいて目標になれるよう、日々精進を重ねています。

開業エピソード

税理士事務所は社長にとって最も身近な存在。お客様に目標とされるような経営をしたい

顧問先を獲得しました。

税理士の役割とは？



Akira Kurokawa

Profile

黒川明税理士(33歳)

黒川税理士事務所(東京都多摩市)  
1978年北海道生まれ。東京都立大学経済学部経済学科卒業。2008年1月、多摩市で黒川税理士事務所を開業。多摩センター駅1分に事務所を構える。年間100件以上の創業支援を行うなど地域ナンバーワンの実績を持つ。経営計画作成支援の経験も豊富で、中小企業の黒字化をバックアップしている。

Q-TAX加盟店オーナー